THE JOMO SHINBUN　2008年（平成20年）6月23日（月曜日）（日刊）

上毛新聞

発行所（〒371-8666）前橋市古市町1-50-21
上毛新聞社
業務 市外局番(027)
(販)254-9933 (広)254-9944
(読)254-3131 (事)254-9955
(印)254-9965 (出)254-9956
(ff)254-9981 (総)254-9984
(総)254-9977 (金)254-9911
© 上毛新聞社 2008年

産廃処分場計画地70ヘクタール「環境保全の森」に

下仁田で「まちむら元気21」

住民とともに地域を考える上毛新聞社の「まちむら元気21」が下仁田町で開催された。下仁田町文化ホールを主会場に開かれた、岡田常夫町長と、各々野で地域づくりに取り組む町民によるシンポジウムで、岡田町長は産業廃棄物最終処分場の計画地だった山林（約七ヘクタール）を「環境保全の森」として整備

運送面で絹産業支えた上信電鉄「遺産」に加え保護提言

シンポジウムは「環境と観光―自然と調和した豊かなまちづくり」がテーマ。岡田町長が町内にある自然について町民代表と意見交換した。

環境保全の森となる山林は町役場北側にあり、町が昨年三月、反対住民からの寄付を受け、四億六千万円で買い取った。

「環境と観光―自然と調和した豊かなまちづくり」をテーマに活発な意見交換が行われたシンポジウム＝下仁田町文化ホール

町が方針

山林を計画的に間伐し、地球温暖化防止に必要な山林の機能を保たせながら、遊歩道やあずまやを整備。町民、観光客が気軽にハイキングや森林浴を楽しめる癒やしの空間にする。岡田町長は「環境保全はもちろん地域住民に愛を持たれる森にしたいと説明した。町は今年五月、町内有識

町民らの願いの場とする方針を示した。また、百年以上前の外国製レールなどが現存し、文化財的価値の高い上信電鉄についても言及、世界遺産暫定リスト記載の旧官営富岡製糸場（富岡市）と連動させて誘客活動を展開していく考えを明らかにした。

関連記事 12―14面

チーム医療教育で連携

群馬大など全国9大学　課題解決へ新組織

チーム医療教育に取り組む大学間の連携を図ろうと、群馬大など全国九大学は「日本チーム医療教育機関ネットワーク『JIPWEN』（仮称）を設立する。チーム医療は、一人の患者に対し、医師や看護師、薬剤師、理学療法士ら複数の専門家が連携して治療に当たる仕組み。ネットワークでチーム医療教育をめぐる問題点を洗い出すとともに解決策を探索して各地の医療系大学に発信する。

前橋市内で二十八日に設立総会を開き、今後の具体的な活動内容などについて話し合う。

群馬大以外にネットワークに参加するのは、札幌医科大、千葉大、埼玉県立大、筑波大、北里大、慶応大、新潟医療福祉大、神戸大。いずれもチーム医療教育に積極的に取り組んでおり、二〇〇七年度から文部科学省の「特色ある大学教育支援プログラム」に採択されている群馬大医学部保健学科の渡辺秀臣教授らが呼び掛けて実現した。

医療の質の向上につながるチーム医療教育をめぐっては国内でもいろいろな大学で取り組まれているが、欧米のような連携組織がなく、先進的な取り組みがあっても十分に周知されていなかった。

今後はホームページを開設し、各大学のカリキュラムをはじめとした取り組みを紹介したり、海外に発表する論文の成なども検討する。

度市年高崎来　観光誘客に資源活用

合併で増加　振興計画策定へ

合併によって増えた多様な資源を観光客誘致に生かすため、高崎市は来年度、新たに市観光振興計画を策定する。各地域の活性化に結び付く観光ルートを開発したり、旧高崎市に残る風情ある街並みを再発見したり、観光の将来の方向性を示す。

計画期間は二〇一〇年度から一九年度まで十年間。光客や宿泊者数、観光消費額などの数値目標を示すか、都市や農山村、中跡、資源の生かし方などを盛り込む。

計画策定に先立ち、市は年十月、観光関係者や有識者による市観光ビジョン研究会（会長・河藤佳彦崎経済大教授）を発足。刈、榛名、高崎、新町、群馬、箕郷の各地域を現地調査し、市内外にアピールできる観光資源を探った。

地域住民へのインタビューを行う中で豊富な人材を発掘できた一方、観光施設は基本的に近所の開業医宅で初めて大相撲中継を見たり、新横綱吉葉山の色百の顔がまぶしかった。後に空手チョップの力道山や長島の天覧試合サヨナラ本塁打にも興奮した▼放送は国民の胸に刻まれた歴史だ。ラジオのなかった関東大震災では、流言飛語による悲劇があったという。常に事実を著実に伝えることは放送の責務であり、国民の「知る権利」に応えることだ。

県内の養蚕、製糸、絹業　9月に東京でぐんまシルク展

絹産業化研究会総会で決定

県内の養蚕、製糸、絹業者で組織する群馬の絹産業化研究会（事務局・県蚕糸振興協会内）は二十二日までに、高崎市の県立日本絹の里で総会を開き、本年度の事業計画で新たに「ぐんまシルク東京展」（仮称）の開催を決めた。

同展は九月十二日から十五日までの四日間、東京・銀座に県が開設する「ぐんま総合情報センター」を会場に開催。県、県蚕糸振興協会の協力で県産絹製品などを年一回のペースで展示し、全国にアピールする。

県内では新たに「ぐんまランドドシルク展」（仮称）も、来年一月下旬に県立日本絹の里で実施する。

県内の絹産業を運営面で支えたとして、県などへ「富岡製糸場と絹産業遺産群」の構成資産に追加、保護していくよう働き掛けることを明言した。

今回はシンポジウムのほか、下仁田中二年生が二人、町内の行事や団体の取材を通じて創業当時の輸入レールを再利用した電柱や柵や数多く残る全国的にも珍しい鉄道施設と紹介、西毛地域の絹産業を盛り上げるよう望を寄せる新聞談義も開かれた。

途上国保健医療に数値目標

太平洋側で大雨、1人死亡

地震で避難の6人に血栓

フィリピン沖で客船転覆

桐生市営バス「不便」85％

お中元、生活必需品が人気

紙面ガイド

横領で元社長、強制捜査へ

経営破たんした英会話学校NOVA生用の社員積立金約3億2千万円を横領した疑いが強まり、大阪府警は近く強制捜査に乗り出す方針を固めた。

考える会野の代表者らつくる「上仁田町環境保全の森懇談会（座長・羽鳥勝之副町長）」を設立、現地調査を含めてこれまでに二回の会合を開いた。今後は七月から月一回のペースで三回の会合を開き、森づくりに住民の声を反映させる。

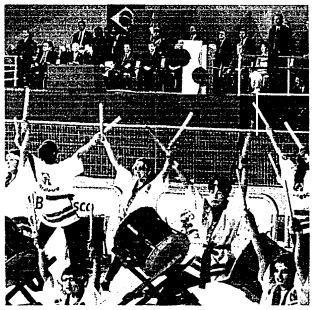
岡田町長は上信電鉄について創業当時の輸入レールを再利用した電柱や柵や数多く残る全国的にも珍しい鉄道施設と紹介、西毛地域

❸

日本人ブラジル移住100周年

記念式祭典に3万7000人

神戸発「友情の灯」点火



【サンパウロ（ブラジル南東部）21日共同】日本人のブラジル移住百周年の記念式祭典が二十一日、サンパウロのアニェンビ・サンバ会場「サンボドロモ」で、日系人や市民らが約三万七千人が参加して開催された。公式訪問中の皇太子さまは日本人ブラジル移住100周年の記念式祭典に出席され、披露された「千人太鼓」を二倍になる皇太子さま＝21日午後、サンパウロ（共同）

が約六百人の直線道路の会場を車でパレードして貴賓席に立つと、道路両脇の観客スタンドから歓声と拍手があがった。

関連記事 17面

百年前に最初の移民船「笠丸」が出港した神戸港で四月に採火され船で運ばれた「友情の灯」が先住民系、白人系、黒人系、日系のランナーに次々と手渡され、最後に日系一世で京都府出身の大西三郎さん（79）夫妻と、孫で母方から数えて初の二世となる大西・エンゾ・優太ちゃん（3）が聖火台に点火した。

皇太子さまは「皆さんが両国の友好交流の懸け橋として活躍することを願います」とあいさつ。療養で同行できなかった雅子さまの「夫妻での訪問を願っていた方々に心よりお祝いの気持ちをお伝えしたい」とのメッセージを紹介した。

カサビ・サンパウロ市長は「文化と風俗の異なる人

新たな日系人支援策を検討

【サンパウロ21日上毛新聞＝石見光広】日本人のブラジル移住百周年記念式祭典に、本県から大沢正明知事、中沢文一前県議会議長らが来賓として出席した。

大沢知事は「日系人の苦労は計り知れないが、それを乗り越えて今日の信頼される地位を築いたことは、群馬県民として誇りに思う」と述べた上で、「今、日本には二、三世が働きに来ている。交流を深め、教育や医療面でどのような支援ができるか考えたい」と、新たな日系人支援策を検討する考えを示した。

在伯群馬県人文化協会の松田典仁会長は「百年は節目の年。これからは二世、三世が活躍する新しい時代で、日本とブラジルの相互交流を盛んにしていきたい」と百一年目を迎える日伯新時代に向けて決意を新たにしていた。

山毒秋

NHK前橋放送局

がきょう、開局七十五周年を迎えた。九三三年八月二十三日付上毛新聞には「けく御局の喜び」という大きな見出しが躍っている▼二万五千のラヂオファンが久しき待望と憧憬の裡に（中略）祝福する御局のよめき、凡ては「JOBG開局の壮快な行進曲と化そう」と分かる▼二・二六事件の前夜に当たり、ベルリン五輪の「前畑がんばれ」、戦時中の大本営発表などの放送を知っているのは戦前派だろう。だが、戦争を知らない団塊の世代もラジオを聴いて育った▼今は「懐メロ」というジャンルに押し込められてしまった歌謡曲が終日流れ、お笑いという言葉とは趣を異にした寄席中継も多かった。夜は『三つの歌』『どんち教室』、そして喜劇『お父さんはお人よし』▼前橋放送局がまとめた『75年のあゆみ』によると、テレビ放送開始は一九五三年で、当時の県内受信契約は百四十一件。翌五四年に近所の開業医宅で初めて大相撲中継を見た▼放送は国民の胸に刻まれた歴史だ。ラジオのなかった関東大震災では、流言飛語による悲劇があったという。常に事実を著実に伝えることは放送の責務であり、国民の「知る権利」に応えることだ。

きょうの歴史

6月23日

タフト・ハートレー法成立　1947（昭和22）年

共産主義勢力の進出が懸念される中、労働組合活動に一定の制限を加える米国の通称タフト・ハートレー法が成立。労組幹部の非共産党員宣誓、公共の安全を損なう恐れのある場合はストライキを80日間停止できることなどを盛り込んだ。第二次大戦後の米国の保守化を示す一例。

群馬銀行の若者への想い。
集合つるのに乗って。たいていセール外れ。
群馬銀行のカードローン
ナイスサポートカード
0120-856-919
ネットからもお申込み可能です！
ご利用は計画的に。

？ 5,329 ！ 左の数字は、県内における昨年一年間のがんによる死亡者数です。 人と明日へ、幸せ発信。
がんは、未だ主要な死因のトップとして、確実に増加しています。
不規則な生活や体調に異変を感じたら、健康チェックをすることをおすすめします。
もしものときの対策は万全ですか？
ぐんま共済では、入院・傷害と幅広くカバーする「フレンド共済21・II型」をおすすめします。
ぐんま共済は、プライバシーマークを取得し、組合員・契約者様の大切な個人情報の保護に努めています。
群馬県火災共済協同組合　群馬県商工共済協同組合
フレンド共済21・II型
手ごろな掛金ビッグな保障。入院してもこれで安心!!
●満4歳以上70歳未満の場合 月額2,500円で
交通事故の場合、入院保障が12,000円（満4歳以上満55歳未満）さらに傷害・疾病と幅広くカバー
●満70歳以上80歳未満の場合、月額1,500円で、疾病以外の入院保障が受けられます
詳しくは、お電話ください。お待ちしております。
出典：平成19年人口動態統計月報年計の概況 より
ぐんま共済
群馬県火災共済協同組合
群馬県商工共済協同組合
本部／前橋市石倉町4-9-10 ☎027(254)5711
●前橋支部／前橋市石倉町4-9-10 ☎027(254)2755
●高崎支部／高崎市問屋町2-7-8 ☎027(362)1899
●太田支部／太田市浜町3-6 ☎0276(46)9596
●桐生支部／桐生市錦町3-1-25 ☎0277(45)3301
URL http://www.gunma-kyosai.or.jp/
E-mail info@gunma-kyosai.or.jp

この印刷物の文章・写真等の著作権は上毛新聞社が保持しています。無断転載、複製及び頒布は禁止します。